

平成 29 年度 こども支援部会の活動状況（中間報告）

1. 委員構成

29 年度の委員構成(6 名)は以下のとおり

	氏名(敬称略)	機 関 名 等	備 考
1	齊藤 宇開	たすく株式会社代表	部会長
2	三井 圭子	社会福祉法人ラファエル会鎌倉地域支援室 相談支援専門員	副部会長
3	田中 香織	鎌倉市こどもみらい部発達支援室課長	
4	吉原 正人	NPO 法人鎌倉はっぴーくらぶ はっぴーわん代表者	
5	渡部 みどり	鎌倉市教育委員会教育指導課指導担当担当係長	
6	渡会 鮎美	神奈川県立鎌倉養護学校支援担当	

2. 部会の開催状況等

(1) 第 1 回部会

- ・日 時 6 月 29 日(木) 10 時から 12 時
- ・場 所 福祉センター 福祉団体活動室

【主な協議事項等】

- ① 障害者施策への提言（鎌倉市障害者福祉計画の改訂に向けた協議会からの意見）の提出について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 29 年度第 1 回全体会等までの協議を経てまとめられた障害者福祉計画の改訂に向けた提言（5 項目・19 件）について、主に地域生活支援部会に関連の深い事項を中心に協議・確認を行った。

- ② 「サポートファイルかまくら」の周知・活用

○説明会資料（修正案）について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 説明会資料（修正案）（パワーポイント用）について、内容を確認し了承した。

○支援者向け説明会の企画実施（検討案）について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 支援者向けの説明会について、発達支援室及び子ども支援部会がそれぞれ主体となって進めていく取り組みが提案され、連携して推進していくことが確認された。

【子ども支援部会による支援者向けの説明会（予定）】

- | | |
|------------------------------|-------|
| *相談支援事業所連絡会（相談支援専門員） | 9月8日 |
| *居宅介護事業所連絡会（支援員） | 9月15日 |
| *児童通所支援事業所連絡会（放課後等デイサービス事業所） | 9月21日 |

○周知用ポスター等の検討

（協議・取組み等の状況）

⇒ 周知用ポスターの検討素案を提示し、意見等を基に再検討し、当面ポスター用としてA3サイズを500枚作成していくこととした。

○実施状況調査の検討について

（協議・取組み等の状況）

⇒ 実際に記入している保護者等を対象にしたモニター調査を検討していくこととし、次回部会でアンケート調査票（案）の検討をしていくこととした。

③ 通学支援の課題について（新たな検討テーマとして提案された課題）

（協議・取組み等の状況）

⇒ 障害児の通学時における自力での移動は、将来的な自立、社会性習得の可能性や体力維持等も含め、可能な限り必要かつ有効という意見で一致がみられ、部会として通学できる環境に関する課題について、継続的に協議・検討していくことが確認された。

（2）第2回部会

- ・日 時 9月29日（金）10時から12時
- ・場 所 福祉センター 第3会議室

【主な協議事項等】

①「サポートファイルかまくら」の周知・活用

○周知用ポスター等の検討

（協議・取組み等の状況）

⇒ A3版ポスター（別紙）500枚を作成した。

以下の機関等に、順次、掲示を依頼していくことを確認した。

- * 各小中学校（25校）へ（要依頼文）
- * 放課後等デイサービス事業所
- * 相談支援事業所等（福祉事業所へは各連絡会を經由して依頼）
- * 行政施設（障害者福祉課）
- * 各福祉事業所等の周辺商店 等

○支援者向け説明会の実施状況について

（協議・取組み等の状況）

- ⇒ これまでに説明会資料（パワーポイント）等を活用して実施した、相談支援事業所連絡会、居宅事業所連絡会、児童通所支援事業所連絡会及び市関連課（7課）合同説明会の実施状況を確認した。
- また、今後（10月中を予定）、発達支援室により幼稚園教諭を対象に地域単位で説明会を開催する予定が報告された。

○「サポートファイルかまくら」活用状況に関する調査の検討について

（協議・取組み等の状況）

- ⇒ 以下の要領により、活用状況等に関するアンケート調査の実施を検討・準備していくことが確認され、アンケート調査票（案）の項目・内容等に関する協議・検討を行った。

《実施主体》 鎌倉市障害者支援協議会こども部会

《協力・監修》 鎌倉市こどもみらい部発達支援室

《調査目的》 ・「サポートファイルかまくら」の内容の改善を図る
・周知をさらに進める

《調査期間》 平成30年1月～2月まで（平成30年1月1日現在の状況を記載）

《調査対象者》 ・障害のあるお子さんの保護者及び本人（※手帳の有無は問わない）
・福祉関係者（相談員・事業所支援員等）
・教育関係者（養護学校、支援級の教職員等）

《実施方法等》 上記の対象者に、調査に協力いただく学校、福祉事業所等の関係機関を通じて、任意にアンケート調査票及び依頼文等を配布する。

（11月の市立小中学校校長会での依頼を予定）

回収も同様に関係機関で調査票（専用封筒入り）を取りまとめて基幹相談支援センター宛てに提出を依頼する。

② 通学支援の課題について

○通学時の「見守り活動」に関する検討

（協議・取組み等の状況）

⇒ これまでに実施した、通学時の「見守り活動」に関する関係者等への聞き取りの状況について報告し、今後も継続して情報収集等を図りながら、協議・検討を進めていくことを確認した。

③ こどもの家（学童保育）における障害のある児童への支援等について
（新たな検討テーマとして提案された課題）

（協議・取組み等の状況）

⇒ 標記について、これまで発達支援室及び基幹相談支援センター等が市青少年課と取り組んできた状況や課題等について情報共有するとともに、今後、部会としてどのように関り、取り組むことがあるか協議・検討し、継続の課題とした。

以上